かなめ流通グループ会員

みなさまの一番身近な相談相手となって経営は勿論、

機械、店舗、営業のすべての面でお役に立つことをお約束致します。

ファッション関連の大規模展

ク店もリユース事業に関心!?

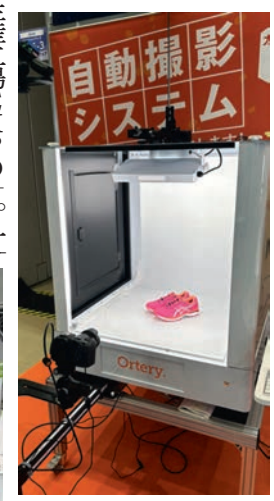
世界20カ国800社が出展する日本最大級のファッションの展示会だという「FaW TOKYO（第30回ファッションワールド東京・秋）」が10月7～9日の3日間、東京ビッグサイトの西ホールで開催された（主催＝RX Japan合同会社）。

このイベントは、左上にあるように10のエリア（EXPO）で構成されているのだが、会場案内図を見ると、その中心は「第23回アジアの縫製・生産工場EXPO」。一通り会場を歩いたところ、半数以上は海外の出展社だったと思われる。同展には何度か足を運んだことがあるが、以前とは全く違う様相で、ファッション業界・展示会業界の移り変わりの早さを実感した。

その今回も、業界関係の出展があり、「第3回リユースビジネスEXPO」のエリアに、直本工業とサン京都がブースを出していた。直本工業はタテ型・100Vのバキューム台（参考出品）とハンドスチームブラシ、サン京都はシミ抜き機等をアピールしていた。古着ビジネスも高級化が進んでおり、そこを狙っての出展だったようだ。

そのほか、気になって話を聞いたのが、「AI真贋鑑定」を前面に打ち出していたブース。AI＋鑑定士による真贋鑑定で査定時の効率・信頼性を高めるとし、大手リユース企業や越境EC事業者、個人経営店舗まで、様々な規模や業態の企業が利用しているそう。実は、全く想定していなかったク店からの関心も高かったそうで、記者に対応してくれたスタッフ一人だけでも「リユース事業への参入を考えている」という7社のク店と話をした」とのことであった。

また、▽AIが全商品の在庫を毎週確認し、欠品しそうな売れ筋を早めに知らせ、追加発注の数量まで提案します、▽〝AIモデル〟を活用することで、モデルやスタイリスト、ヘアメイク、撮影等といった人的工数を大幅削減――といったAI関連の提案も目立っていた。



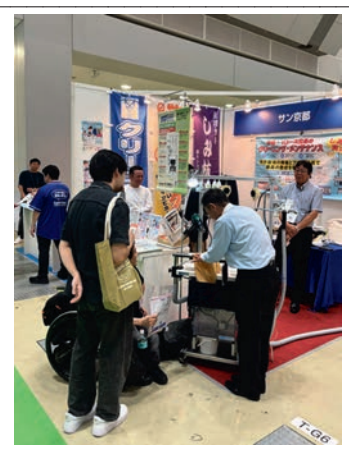
◀こちらはク店も多数訪れたという「AI真贋鑑定」のブース。スピーディーな画像診断ができるが、ハイブランド品は現物鑑定となり、鑑定書も出すとのこと





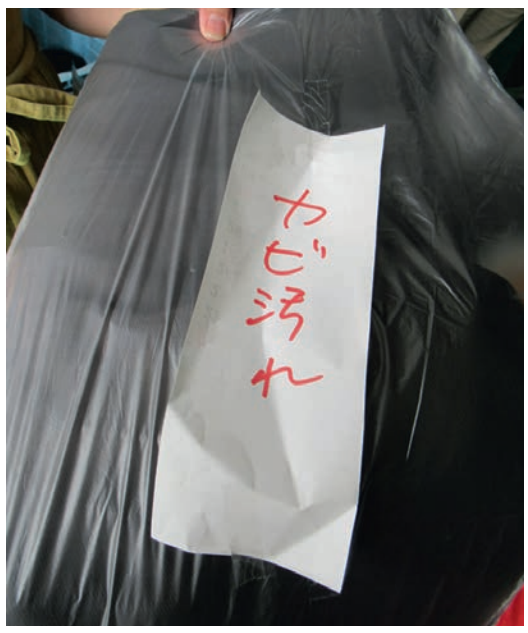
◀海外勢では、中国や台湾、バングラデシュ等が目立った





▲クリーニング業界関係では直本工業（左）とサン京都が出展していた

▼自動撮影システムの提案も。ク店でのビフォー・アフター撮影に役立つかと思ったが、小型でもびっくり価格であった



秋の衣替え本格化!!

カビの相談も

8月後半から10月頭にかけて、東京都心などでは連日の雨。物価高の影響もあって、秋の衣替え長雨の影響で〝カビ〟の動きは鈍かったが、10月2週目頃から少しずつ動きだした。プロとして、しっかりスタート。「例年よりダウンが多めで、ますます着る前洗いが増えている」との声も。また、秋の衣替え期待に応えたい！



▶10のエリアで構成されるFaW TOKYO。海外、特にアジアの出展社が目立った



KNM GROUP かなめ流通グループ からの 新 情報提供用ツール

肩貼りニュースレター　500枚単位@1,540円税込

「クリーニングの事をもっとお客様に知ってもらいたい!」
そんな想いをもつクリーニング店様に最適のツールが出来ました。毎月1日頃に、新しく更新された「肩貼りニュースレター」がお手元に届きます。（毎月1回新しい情報に更新）
これを仕上がった衣類のポリ包装に貼るだけで、基礎的なクリーニング情報をお客様にお教えすることができます。



1月号（お申し込みは12月10日迄）
サイズ:105×148（はがきサイズ）